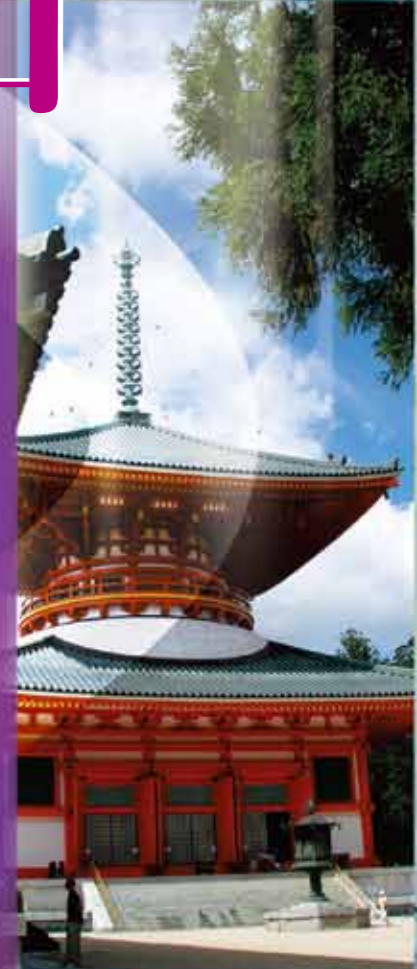




高野山



和歌山県高野町
高野山観光情報センター
高野町観光振興課・和歌山県世界遺産センター高野地域駐在
TEL 0736-56-2780

高野山の歴史

弘法大師空海は二十歳で出家し、三十一歳の延暦二十三年(804)唐に渡る。都長安で惠果阿闍梨という高僧について、真言の教をうけ、二年余りで真言密教の奥義を極め、八人目の「阿闍梨遍照金剛」の称号を得、大同元年(806)に帰国し、真言密教を各地にひろめた。当時の帝、嵯峨天皇より高野山を賜り、弘仁七年(816)に諸弟子や工人等多数を伴って登山し、開創に着手された。これが高野山金剛峯寺のはじめといわれています。

二十年后、大師は六十二歳の承和二年(835)三月二十一日に御入定し、即身成仏を遂げられました。その後、高弟真然大徳が中心となって、仏教修禪の大道場として栄えました。

現在は、伽藍と奥之院の両壇を中核に総本山金剛峯寺を始め百十七カ寺があり、神秘的霊場を形成しています。

行事

FESTIVALS



旧正御影供

●旧3月21日、大師御入定の日に行う報恩のための法会。この日に限り御影堂が開扉される。前夜には、御逮夜法会が営まれ、伽藍で萬燈萬華会が行われる。



青葉まつり

●6月第2日曜日、弘法大師空海の生誕を祝うお祭が行われる。お山は、この時期新緑の最も美しい季節のため青葉まつりと名付けられた。町民による「大師音頭」が道いばいに繰り広げられ、参拝者も自由に参加できる。



ろうそくまつり(萬燈供養会)

●8月13日の夜、奥之院聖域に10万本のろうそくが埋め尽くされ、2kmの参道は、光の川と化す。先祖をはじめ奥之院に眠る総ての御霊を供養する行事。



錦秋大伽藍お練り法会

●11月3日、地蔵袈裟を身に纏った僧侶が、金剛峯寺より紅葉の美しい蛇腹路を経て伽藍金堂へ、散華とともに行道(お練り)します。

● 1月	奥之院修正会 金堂修正会 大塔修正会	1・2・3日 1・2・3日 5日	燈籠堂 金堂 大塔
● 2月	常楽会(涅槃会) 法印転衣式	14日午後11時 22日以降3月15日迄	金剛峯寺 〃
● 3月	高野の火まつり 御衣加持 正御影供 春季彼岸会	第1日曜日 17日 21日 彼岸中日前後3日間	金剛峯寺 宝亀院 燈籠堂 金堂
● 4月	仏生会(灌仏会) 大曼荼羅供 奥之院萬燈会 旧正御影供御逮夜 旧正御影供	8日 10日 21日 旧3月20日 旧3月21日	金剛峯寺 金堂 燈籠堂 伽藍 奥之院・御影堂
● 5月	山王院夏季祈り 山王院堅精 結縁灌頂	旧1・2日 旧3日 3日より3日間	山王院 〃 金堂
● 6月	内談議 御最勝講 青葉まつり 宗祖降誕会	旧9・10日 旧10・11日 第2日曜日 15日	金剛峯寺 山王院 山内 大師教会
● 7月	陀羅尼会 大塔御国忌	1日 15日	准胝堂 大塔
● 8月	不断経 孟蘭盆会 ろうそくまつり(高野山萬燈供養会)	7日より7日間 11日 13日	金堂 金剛峯寺 奥之院
● 9月	秋季彼岸会 勸学会	彼岸中日前後3日間 非公開	金堂 勸学院
● 10月	結縁灌頂 奥之院萬燈会 明神社秋季祭典 奥之院謚號奉讃会	1日より3日間 1日より3日間 16日 27日	金堂 燈籠堂 山王院 燈籠堂
● 11月	錦秋大伽藍お練り法会	3日	伽藍
● 12月	大般若転読会 御影堂煤払 御幣納め	10日 28日 31日	大師教会 御影堂 御社

春 ひとつき遅れの桜が咲き、続いて高野山ならではの石楠花が仏都を彩ります。

秋 10月に入ると木々は、鮮やかに紅葉を始め、すすきが風と戯れる。

夏 標高840m。杉木立を涼風が吹き抜け、絶好の避暑地です。

冬 12月には、初雪が降りお山は、薄化粧をする。除夜には高野四郎(大塔の鐘)が鳴り渡り新年を迎える。

体験 EXPERIENCE

俗世の喧噪からはなれた高野山ならではの「心を落ち着ける神秘体験」です。



写経



阿字観

泊まる ACCOMMODATIONS

宿坊寺院は、51ヶ寺。各々にもつ縁や文化財、庭園、精進料理が楽しめる。早朝の勤行に参加することも出来、集会、研修、林間学校等に広くご利用いただけます。



おみやげ SOUVENIRS

弘法大師空海が唐に留学した際に伝授されたといわれている薬草を使った胃腸薬や高野豆腐、胡麻豆腐、名菓、数珠、経木、お守り、仏具、高野槇等たくさんの特産、名産品があります。



胡麻豆腐 Goma Dofu
炒った白胡麻を潰し、くずと合わせて煮込んで作る。独特の粘り気は、炒った胡麻を十分に潰すからであり、心をこめて作る精進料理の真髄がうかがえます。



高野山ガイドマップ